

GSP JOURNAL

5月28日、500名以上の生徒が参加し、GSPが盛大に実施されました！



講座No.18 日本の森林を守り、育てる「林業」

GSPでSDGsを学ぶ

GSPではさまざまな講座が開講されていますがSDGsに対する理解を深めることを目的の一つとして掲げています。この日に開講された講座の中では、日本の森林を守り、育てる「林業」の講座がSDGsを広く学ぶのに適した講座でした。「林業」はSDGsの目標のうち「陸の豊かさを守ろう」に直結するだけではなく、貧困の問題、水の問題、エネルギーの問題やまちづくりの問題にも関わってきます。担当者からは、「林業」を学ぶことで社会の仕組みの大半が見えてくるということをお聞きしました。参加者にとっては、非常に有意義な時間であったと思います。

一方、作業療法士の講座は「すべての人に健康と福祉を」に関わる講座でした。超高齢社会となる現代において、この分野に目を向けている高校生がたくさんいることを嬉しく思っています。誰しもが年を重ね、福祉のお世話になる時がやってきます。自分の力で、直接社会に役に立つことができるのが福祉の道の尊い点です。



講座No.17 作業療法士の仕事と魅力



講座No.8 蕎麦打ち体験①（上段左）

講座No.14 パーソナルカラーを知ろう（上段右）

講座No.7 世界演劇入門①（下段左）

講座No.16 自分色広がる「きものカラーコーディネート」講座（下段右）



GSPでしかできない経験がある！

【GSPを受講した感想】

- ◆着物には振袖や浴衣以外にも小紋や紬などいろいろな種類があることを知りました。また、石川県には、加賀友禅の他にも蚕の繭から作られた丈夫で艶のある紬の牛首紬、「蟬の羽根」と呼ばれる透け感があり、ひんやり涼しく夏の着物とされている能登上布と言われるものがあると知り、機会があれば見てみたいと思いました。着物の色は、色の重さと温度、鮮やかさでセンスが上がると思いました。例えば、帯を選ぶ時に着物と近い色にすることで、全体的にまとまり、穏やかになることに比べ、離れた色にすると、メリハリがあって、個性的になるということで、着物だけではなく普段の服のコーディネートにも使えそうだなと思いました。（自分色広がる「きものカラーコーディネート」講座）
- ◆自分の好きなものを類推して共通点を探し、その中から自分の好きにはどんな要素が含まれ、何

を基準にするのを学んだ。自分の潜在観念が意外と多かったことが分かり驚いた。（自分だけの未来を描く力「クリエイティブ思考」）

- ◆パッケージのデザインは普段いろいろな場所で見かけるものだけど自分で実際に考案するのはとても難しかったです。ターゲット層を決めてどんな風にアピールするかというのがよく考えられているのを知りました。（パッケージデザイン）



講座No.20 パッケージデザイン



GSP JOURNAL



6月18日、GSPにおいて12講座もの高大連携プログラムが開講されました。



講座No.32 昔話法廷「三匹のこぶた裁判」



講座No.35 テーピングを上手に巻けるようになろう！（左）



講座No.42 ピアノの実技指導（右）

アクティブ・ラーニング

変わりゆく社会を背景に学校での学びも変化を余儀なくされ、近年特に強調されているのが「主体的・対話的で深い学び」です。その一例がアクティブ・ラーニングであるわけですが、これは批判的思考力、問題解決能力、コミュニケーション能力といった21世紀型スキルを身につける手段として注目されています。今月のGSPでは「昔話法廷“三匹のこぶた裁判”」「“SDGs de 地方創生”カードゲーム」「ストーリーマンガを文学的に読んでみよう」といった講座でその手法が取り入れられておりました。その講座の中で講師の先生が「物事の本質を見抜く力」「論理を多面的に展開する力」を身につけましようと言言されていましたが、これこそGSPの理念そのものです。一方的な講義に対しては受け身になってしまう高校生であっても、「主体的・対話的な学びの場」に入ると積極的に自分を表現し、他者の意見を取り込み、考え方の幅を広げていくことができます。「環境が人を育てる」という信念のもと、GSPでは今後も生徒たちが自分で自分を成長させていける場を提供していきます。



講座No.24 「SDGs de 地方創生」カードゲーム

GSPで広がる「知識」と「感性」の幅

【GSPを受講した感想】

◆テーピングはどんな時にするものなのかは知っていたけど、テーピングの巻き方や、どういう効果があるのかを知らなかったの、それを学べよかったです。テーピングを巻くのは想像以上に難しかったけど、部活中などに怪我をした人がいたら巻いてあげられるくらいの知識はついた。

（テーピングを上手に巻けるようになろう！）

◆いつもとは違う先生のレッスンを受ける事で、表現の幅が広がったし、自分では分らなかったところも指導してくださり本当に為になった。他の人のレッスンを見ることもとても勉強になることが多かった。本当に楽しかった。（ピアノの実技指導）

◆起こっていることに対して人が感じることや思うことはバラバラであり、特に医療現場などで起こる曖昧な言葉（少し、早くなど）による誤解を防ぐことが重要であることを教えて頂きました。

（臨床検査と医療従事者が果たす役割）



講座No.40 臨床検査と医療従事者が果たす役割

◆漫画のシーンの役割について考えたことがなかったので、今回の講座で作者の意図を考えるきっかけになった。（ストーリーマンガを文学的に読んでみよう）



講座No.34 ストーリーマンガを文学的に読んでみよう

◆国際系の学部のことを具体的に知れて、とても良い機会になった。また、留学に興味を持つことができ、してみたいなという思いが一層強くなった。（日本の大学で学ぶ外国語と異文化理解）



講座No.31 日本の大学で学ぶ外国語と異文化理解



GSP JOURNAL



7月16日、医学や法学など専門性の高いGSP講座が多数開講されました。

医療系に強い！星稜高校

星稜高校に在籍する生徒の進路志望先として、非常に大きなウェイトを占めるのが「看護」です。また、「医学」「薬学」「検査技術」「理学療法」「作業療法」「臨床工学」といった医療系の学問分野にも毎年多くの生徒が進学しています。昨年度は、国公立大学の医学部医学科に既卒生を含めて4名の生徒が合格し、私立大学の医学部医学科合格者7名を合わせた11名の学生が医師への道を歩み始めています。GSPは今年度で4年目を迎えますが、GSPにおいては開講初年度から講師として医師を招いたり、医学部の教授を招いたりしてきました。今後も医療系の進路を志す生徒たちがGSP講座を通してその学問性を理解し、進学してからミスマッチに気づくことがないように進路選択をサポートしていきます。

7月16日の講座においては、「重症呼吸疾患から命を救う体外循環」「薬と病気を理解し、ヒトを助ける薬理学」「スポーツ医学」といった講座が医療の専門性が高い講座でした。このうち「スポーツ医学」の講座はアメリカ合衆国と本校をオンラインでつないで講義を実施していただきました。



講座No.61 スポーツ医学



講座No.57 薬と病気を理解し、ヒトを助ける薬理学



講座No.58 ファブリック製品から読み解くフェアトレード（左）



講座No.62 アルミ鋳物のカトラレリストに刻印体験（右）

見聞と体験を通して職業を知り、社会を知る

【GSPを受講した感想】

◆フェアトレードについて軽く知っている程度だったので、詳しく知れてよかったです。世界には正当な収入を得て生活することが困難な国もあるので、フェアトレードの活動はすごく大切だと思います。（ファブリック製品から読み解くフェアトレード）

◆大学で、漫画の歴史や構造を学ばせてもらえるところが、結構あると聞いてびっくりしました！コマの区切り方や、オノマトペの使い方、日本人の漫画家さんが、初めて作ったものがたくさんあって、凄いなと思いました！（マンガはなぜ面白いのか）

◆飼育員さんに動物園の役割や、環境問題が動物に与える影響などを教えていただきました。動物園は、動物の生態を調べて、各々にあった環境を作るようにしていることを知り驚きました。とても充実した時間が過ごせてよかったです。（動物園のウラ話&写真コンテスト）



講座No.45 動物園のウラ話&写真コンテスト

◆コロナ禍になり体温を測ることが日常になりましたが、体温がこんなにも日々の生活や運動に関係しているとは驚きました。（体温調節の重要性和生活・スポーツへの応用）



講座No.59 体温調節の重要性和生活・スポーツへの応用

◆実際に模擬裁判をしてみて、人を裁くことは責任が重く感じました。また、判決に間違いがないように慎重に審理が進められていることが分かりました。（模擬裁判）



講座No.47 模擬裁判



GSP JOURNAL



10月1日のGSPにおいて、英語4技能や職業体験、ディスカッション型の講座などGSPならではの多様な講座が開講されました。

GSPで開かれる世界の扉

輪島の日本航空大学校石川において、星稜高校だけを対象とした特別オープンキャンパスが開講されました。のと里山空港に隣接するキャンパスはまさに広大で、講義棟と実習棟が立ち並ぶ隣に滑走路が走り、将来フライトの世界を目指すにはうってつけの環境がそこにありました。

講座は多くの生徒が希望したCA（キャビンアテンダント）とGS（グランドスタッフ）の仕事の解説と体験が中心でした。校内に設置された航空機内を模したスペースで全生徒が食事提供と機内アナウンスの実習を行いました。実際にANAとJALで使われているエプロンに袖を通して本物のCAになりきっていました。続くGSの実習の前にはスカーフのまき方の講義もあり、生徒たちは苦心しながらも自分の首をスカーフで彩り、気持ちを高めていました。今回この講座に参加した生徒の中から実際にCAやGSの地位を手に入れ、世界の扉を開く生徒が必ず出てくると確信する一日でした。

GSPでは、今後も初心からブレることなく「世界で活躍する個性豊かな星稜生に成長する」手助けができる講座を準備してまいります。



講座No.7 日本航空大学校石川特別OC



講座No.6 GRIT ～Global Road Intensive Training～（左）



講座No.26 やさしい「十二単」講座（右）

学校教育の限界を超えた、多彩な学び場GSP

【GSPを受講した生徒の感想】

◆初めは、認知症は「治らない」「高齢者になったらなるもの」と思っていました。しかし講義を通して認知症には、複数種類があり、ならないように対策ができ、治る可能性もあるということが分かりました。（「認知症」ってなんなん？）



講座No.9「認知症」ってなんなん？

◆ハングルの正しい発音方法など対面でしか知ることのできないことが知れてよかった。独学では知らなかったことが知れて、良い経験になった。K-popの曲をもとに単語の意味を知ることができてよかった。これからも韓国語の勉強を頑張りたいと思った。（韓国ドラマとK-POPで学ぶ韓国語）

◆自分の顔の形や目や鼻の位置、眉の形などで印象が全く違うことがわかった。自分の顔の特徴がわかったのを活かしてメイクをしていきたい。メイクで顔の印象を変えられることもわかった。（高校生のためのセルフメイク講座）

◆男女平等という目標があるにも関わらず、未だに男女格差がある社会が続いているので、今回の講座で改めて深く考えることができました。

（ジェンダー問題に関するディスカッション）



講座No.14 ジェンダー問題に関するディスカッション

◆ネタにできるくらい下手だった絵が、堂々と家族に自慢できるくらいになりました。丁寧な説明でとてもわかりやすかったです。（キャラクターの顔の描き方・塗り方）



講座No.19 キャラクターの顔の描き方・塗り方



GSP JOURNAL



10月22日、サブカルから医学まで幅広い分野の講座が開講されました。



講座No.37 韓国語と韓国文化の不思議



講座No.41 医学部入試直前対策 -効果的な学習方法編- (左)



講座No.47 『みんなちがって、みんないい』そんな教師を目指して (右)

国際理解につながる外国語の教養

10月1日にも「韓国ドラマとK-POPで学ぶ韓国語」という講座が開講されて多くの受講生が集まりましたが、今回の「韓国語と韓国文化の不思議」にも熱心な受講生が集い、講座は大いに盛り上がりしました。

現在、世界には7000種類近い言語が存在しているようです。その中で英語を公用語としている国と地域の数が約80も存在し、国際的な場面で英語が通用することが多いことから日本でも外国語として英語の教育が進められていますが、大学へ進学すると教養科目として第二外国語が開講されます。ある機関のアンケートでは、中国語が第二外国語履修の第1位であり、それに続くトップ5の中に韓国語も入ってきています。中国と韓国が日本の隣国であることを考えると、当然の結果と言えるでしょう。一方、中国と韓国にとっても日本が隣国であるため、コロナ禍以前の統計結果となりますが訪日する観光者数では1位が中国人の490万人で2位が韓国の400万人でした（2015年統計）。中国と韓国の人口に大きな差があることを考えると、いかに韓国人が日本に興味を持ち、実際に訪日してくれているかがわかります。

英語を学ぶことは重要です。しかし、それは英語だけ学んでいればいいということではないので、「世界で活躍する個性豊かな星稜生に成長する」ためにも、英語以外にも多様な外国語を学んでほしいと思います。

【GSPを受講した感想】

◆脳はブドウ糖のみを栄養とするため、記憶力は糖分を摂ることで担うことができる。またチョコレートに含まれている成分は糖分以外にも記憶力を担っているものがあり、勉強中はチョコレートを食べると良いと分かった。（記憶力と食べ物の関係はあるのか）

◆私は獣医師になるという夢と監察医になるという夢でとても迷っているから、色んな体験を通して自分のなりたい職業に向けて勉強していく事が出来たらいいと思った。将来の夢を決めるのにとってもいい機会になった。（ペットビジネスと動物看護）



講座No.29 ペットビジネスと動物看護

◆「女だから/男だから」という概念にとらわれずに自分がしたいことなどの欲をもっと出そうと思いました。「自信がなくていい。ただ、自分にOKを出そう」という言葉がすごく心に残りました。（ジェンダー平等社会における男と女の心理学）

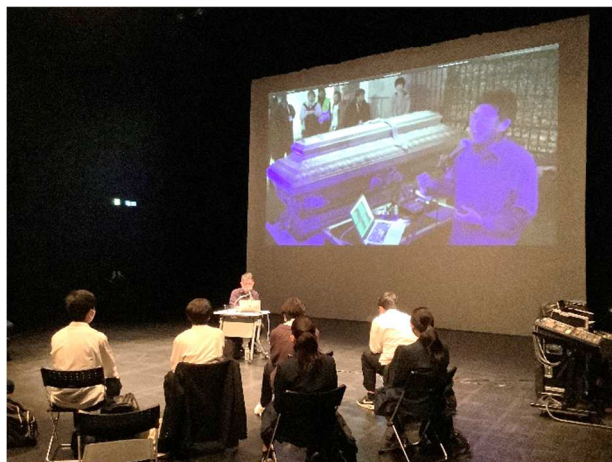
◆大学の選択肢が増えてよかったと思った。星稜の卒業生の方たちからお話を聞いたのがとてもよかった。看護について学ぶ時の辛いことや、やりがいも知ることができたのでとてもよかった。

（石川県立看護大学特別OC）



講座No.31 石川県立看護大学特別OC

◆芸術を改めて奥深く知れるいい機会になりました。（世界演劇入門③）



講座No.30 世界演劇入門③



GSP JOURNAL



11月19日、“ホンモノ”を追求するGSPに「南極」がやってきました。

学びの先にあるもの

「何のために学ぶのか」という悩み、問いを抱える高校生はたくさんいると思います。そんな問いに対する一つの答えが、今回のGSPで示されました。「極地の氷に何が起きているか」の講師を務めてくれた方は青年海外協力隊、スイス連邦工科大学でのキャリアを経て、現在は北海道大学で教授を務めていらっしゃる先生でした。この講座では本物の「南極の氷」が用意され、生徒はそれに感動しながら講師の語る「学びの先にあるもの」に対して耳を傾けていました。それが生徒へと伝わったのか、受講生の感想には「地球の未来について考えることが出来て、とても有意義な時間になった」というものもありました。

大学合格を勝ち取るために勉強するというところに、異論はありません。しかし、大学合格がゴールではないということは強く訴えなければならないことです。生徒の皆さんには、ぜひ自分が学んだ先に何があるのかということを、今のうちから少しでも意識してほしいと思います。その「学びの目的」があれば、受験勉強は未来を手に入れるための充実した取り組みとなることでしょう。



講座No.74 極地の氷に何が起きているか



講座No.58 アロマクラフトをつくってみよう（左）

講座No.73 VRゴーグルで体験する建設作業現場（右）



GSPで生徒が変わり、未来が変わる

【GSPを受講した感想】

◆オイルマッサージによって、体の不調だけでなく心理的な不調の治療にも役に立つことがすごいと思いました。もともと、セラピストやエステティシヤンの仕事に少し興味がありましたが、この講座を通してより興味が湧きました。（癒し×スッキリ脚 アロマの手技で学ぶセルフケア）



講座No.71 癒し×スッキリ脚 アロマの手技で学ぶセルフケア

◆エネルギーミックスについてのグラフを自分で考えてみる時間があって、意識が高まりました。（「エネルギーミックス」について語り合おう）



講座No.55 「エネルギーミックス」について語り合おう

◆肩揉みの仕方を詳しく教えてもらったので、今後活用していきたいです。肩揉みをしてもらう人も肩揉みをする人も、いい気持ちになるので良いことだと思います。（絶賛される肩もみのやり方）



講座No.59 絶賛される肩もみのやり方

◆災害支援や訪問看護など、看護師の仕事は病院内だけではないことを知りました。講義をしてくれた人の患者さんとのエピソードがとても感動的でした。また、医療ドラマでは「コウノドリ」が一番現実に近いみたいなので見てみたいと思いました。（看護の出前授業）

◆地震体験だけでなく消防署の見学もすることができた。最近女性の消防士もいて、そのためにしっかりと部屋などが分かれていることを知った。また、消防車にも三種類あることや消火器の使い方を教わったりした。地震体験車で震度7の揺れを経験したが、揺れが本当に強く家具は固定していないと簡単に倒れそうなほどだったので、万が一に備えて家族と話したいと思った。（地震体験車で学ぶ「防災」の心得）

GSP JOURNAL

12月17日、気候は寒い中でしたが熱気あふれるGSP講座が目白押しでした。

職業でつながる人と社会

「安定した居場所が自己肯定感に影響を与える」ということは周知の事実で、これは大人も子どもも変わりません。「誰かに頼りにされている」「誰かの役に立っている」という感情は、その本人に自信と勇気を与えます。それを知って知らずでか、リクナビのアンケートでは、高校生・大学生の就職に関する意識で「やりがい」や「成長」を求める声が「収入」や「環境」を求める声を上回るそうです。つまり、若者の「働く」ということに対するモチベーションは、外的な要因よりも、寧ろ内的な要因を重視しているということです。一方で大学生の多くが「将来何をしてよいかわからない」とも答えています。社会とつながり、社会に貢献したくても、どうやって貢献してよいかわからないというのです。

このような状況を防ぐために、星稜高校ではGSPで多様な講座を展開しています。世の中の多くのことは調べたり聞いたりするより、実際に見たり経験したりすることで深く理解することができます。いろいろな学問や職業の実態を自分の目と体で確かめ、自身が社会とつながる糸口あるいは将来の居場所の候補を今のうちから考えておきましょう。



講座No.90 ヘアカット体験



講座No.92 発展途上国における看護師・保健師の活動



講座No.86 絶対にチャレンジしてはいけない「暗黒地獄」(左)

講座No.83 第1回星稜ストラックアウト選手権(右)



GSPで手に入れる、新しい教養と人間関係

【GSPを受講した感想】

◆コミュニケーション能力が高い人は話上手な人のことだと思っていたけど、相手の話をしっかり聞いて寄り添ってあげられる人であるということがわかりました。また、私は今まで姿勢がとても悪かったのですが、腰から頭まで一直線にすることを意識することで、姿勢よくおじぎができるようになってよかったです。(高校生のためのマナー講座)

◆アメリカの中絶に関する法律は、日本と比べてとても厳しいものと分かりました。この講座で一番心に残ったのは、「女性の身体を所有するのは女性自身である」ということです。これが決して当たり前のことではなかった時代や、今もそうである国があると知って怖くなりました。中絶問題だけでなく「おかしい」と思うことがあったら選挙で投票する機会を利用しない手はないと分かりました。18歳になったらしっかり投票して、自分の意見を伝える機会を逃さないようにしたいです。(アメリカの女性の歴史)

◆〇×クイズを通して簡単に手続きや法律について学ぶことが出来ました。ゲームの中で私はたくさんやらかしていたので、現実世界の私はそうならないよう気をつけたいと思います。(ボードゲームから学ぶ、生活に必要な「手続き」と「知恵」)



講座No.80 ボードゲームから学ぶ、生活に必要な「手続き」と「知恵」

◆この講座が始まる時は知らない人たちばかりだったけど、終わった後にはみんな笑顔になっていて、バランスボールは精神にも身体にも人間関係にも良い影響を与えてくれるすごいものだった。(あなたの悩み、バランスボールが解決します！)



講座No.96 あなたの悩み、バランスボールが解決します！



講座No.95 アメリカの女性の歴史



GSP JOURNAL



1月28日のGSPは大雪の中でしたが、最高の思い出が残る一日となりました。

チーム星稜のバトンパス

これまでに、星稜高校は3万5千人を超える卒業生を社会に輩出してきました。その一人ひとりが「誠実にして社会に役立つ人間の育成」という建学の精神を体現してくれており、国内外様々な分野で活躍するOB・OGがたくさんいます。GSPではこれまでもそのような先輩方を講師として迎えてきましたが、今回のGSPでも「大学受験を見据えた目標設定の考え方」「生命誕生の支援について学ぼう」の講師を本校の卒業生が務めてくださりました。

豊富な社会人経験を持つ卒業生が自分の言葉で直接生徒たちに語り掛けてくれることで、その言葉は他の誰が語るよりも生徒の心の中に残るようです。講座を受講した生徒の感想からも、先輩の言葉が生徒たちの学業への意欲を掻き立て、未来への展望を開かせてくれていることがわかります。「星稜」の精神は先輩から後輩へと受け継がれ、今の高校生もこの先の人生で本校の建学の精神を体現してくれることでしょう。そしていつの日か、自身の学びと経験を次の世代へとバトンパスしてくれると信じています。星稜の卒業生の中には母校の教職員として教壇に立つ者もありますが、ここに私学としての強みが凝縮されていると言っても過言ではありません。



講座No.13 大学受験を見据えた目標設定の考え方



講座No.9 生命誕生の支援について学ぼう



講座No. 4 金沢製菓調理専門学校特別OC（左）



講座No.17 健康を守る体内時計（右）

座学で学び、体験して学び、星稜生は成長する

【GSPを受講した感想】

◆今日初めてAEDを実際に使ってみてすごく緊張したけど、体験することができてよかった。救助する時に注意する点や胸骨圧迫のポイントを学ぶことができてすごく勉強になった。（赤十字社のボランティア&救急員研修）



講座No.16 赤十字社のボランティア&救急員研修

◆たった一言でも言い方によって伝わり方が違うことがよく分かったので、対面で話す時はもちろん、SNSなど文章でのやり取りの時にも気をつけたいと思いました。（看護職・介護職に必要なコミュニケーション能力）



講座No.14 看護職・介護職に必要なコミュニケーション能力

◆兼六園で中国のツアー客の人たちと撮影会をしてみ、着物って外国の人から見ても素敵なんだなと思った。冬の兼六園素敵だった！良い思い出になった。（冬の兼六園で“着物”体験）



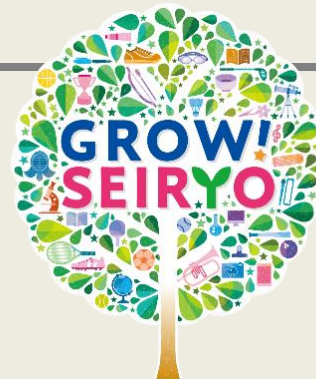
講座No.5 冬の兼六園で“着物”体験

◆「目標は、到達できるかどうかギリギリのレベルで設定する」という言葉がすごく心に残りました。私は高校1年生でどれぐらいの大学に行けるのかとか、1年生だからまだ自分の身の丈にあってないところでもいいかなあとか、志望校の設定の仕方はよくわからなかったけど、これを聞いて「自分はやっぱりここに行きたい！」というのを決心することができました。（大学受験を見据えた目標設定の考え方）

◆講師の方が看護師、保健師、助産師の3つの免許を取得していて尊敬しました。新生児モデルによる疑似体験ではおむつ替えをしましたが、赤ちゃんは足の関節が柔らかく脱臼する恐れがあるので、足を上げずにお尻を持ってあげるといいと学べました。（生命誕生の支援について学ぼう）



GSP JOURNAL



2月18日のGSPでは、変化する時代にも通用する人間力が磨かれました。



講座No. 35 はじめてのデジタルサウンド&動画編集



講座No.36 まだない選択肢を、自ら作る生き方（左）



講座No.26 電動ろくろ体験&瞑想の足湯（右）

AI時代 × 人間力

AIの進化は目覚ましく、機械学習の実用化とディープラーニングの登場により「AIが人間並みの知能を備える」「技術的特異点（シンギュラリティ）が来る」といった学説が唱えられるまでになりました。そんな時代において、人間が備えるべき力と強調されているのが「IT知識」、つまりAIを使いこなすための知識です。これについては異論ないでしょう。今後は各種アプリケーションにOpen AIが搭載されることになっており、最低限のIT知識が不可欠となります。GSPにおいても今回の「はじめてのデジタルサウンド&動画編集」のような講座を今後も充実させていきます。

一方で、AI時代だからこそ重要視される「人間力」もあります。対人関係力や主体性、感性といった人間ならではの力もまた、新しい時代を切り拓いていくために不可欠だとされているのです。今回の「“裏千家”茶道教室」はまさにその対人関係力や感性が養える講座でした。日本のおもてなしの精神、これからも大切にしたいものです。



講座No. 27 “裏千家”茶道教室

自分の生き方は自分で決めるもの

【GSPを受講した感想】

◆実際に起業している人の考え方や進路の選択、人生の自由さなどを肌で感じることができ、とても充実した時間だった。起業というのは目標じゃなくて手段であるので自分も選択肢の一つに入れて考えていきたいと思った。（まだない選択肢を、自ら作る生き方）

◆リーディングスパンテストやパラダイムテストが楽しかった。自分の記憶力を結構信じていたけど、このテストをしたら全ては答えられなかった。あんまり信じられないなと思ったし、短期記憶から長期記憶にうつすには一度思い出すことが有効だと教えてもらったのでテスト勉強のときに使いたい。（あいまいな認知）



講座No.37 あいまいな認知

◆なかなかできない貴重な体験ができたのでよかった。残った時間に温泉街巡り、パン屋さんやカフェ、足湯など充実した時間を送れたのでとても楽しかった。（電動ろくろ体験&瞑想の足湯）

◆解説が丁寧でわかりやすかったです。もっとみんなにとって居心地の良い世界になってほしいと思いました。（LGBTQってなに？）



講座No.42 LGBTQってなに？

◆貯蓄するだけではダメで投資とうまく付き合っていくことが大切なのと思った。ただリターンが大きくなるほどリスクも大きくなるので自分の生活を崩さないように上手く利用していけたら良いと思った。（高校生のための「投資」講座）



講座No.39 高校生のための「投資」講座